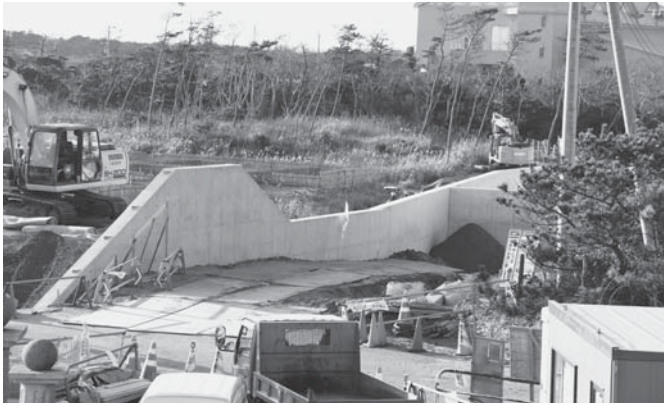


屋形海岸・木戸浜海岸に防潮堤を建設



建設が進む屋形海岸(令和3年3月末完成予定)



木戸浜海岸

防災行政無線をデジタル化

平成24年度に、各家庭に設置されている防災行政無線戸別受信機をアナログ方式からデジタル方式に切り替えました。

デジタル方式への切り替えによって、音声品質の向上、データ通信による専用機器への文字放送の送信が可能になりました。

○アナログ戸別受信機が設置されている世帯へはデジタル式機器へ無償で交換します。

○新規に戸別受信機の設置を希望される場合は1台5,000円の分担金が必要となります。

戸別受信機の交換や、新規設置は環境防災課までお申してください。

申問環境防災課 ☎84-1216



家庭でもできる備えがあります!

○家具の置き方を工夫しましょう

大地震が発生したとき「家具は必ず倒れるもの」と考えて、倒れてきた家具でけがをしたり、出入口をふさがれてしまわないように、転倒防止器具などを活用してしっかり壁に固定したり、配置の仕方を工夫しましょう。

○食料・飲料水などの備蓄をしましょう

電気やガス、水道などのライフラインが止まった場合や物流の停滞によって食料品などの調達が困難になります。普段から飲料水や保存のきく食料などの備蓄を心がけましょう。

・家族全員の飲料水や食料を3日分は備蓄しておきましょう

飲料水(1人1日3リットルが目安)、食料、トイレトーパー、ティッシュペーパー、懐中電灯、カセットコンロなど

・飲料水とは別に、手を洗ったり、トイレを流したりするための生活用水も必要です

日ごろから、水道水を入れたポリタンクの用意や、お風呂の水を張っておくなどして備えておきましょう。

・無駄なく備蓄できる【ローリングストック法】を活用しましょう

防災用の保存食を備蓄しておくことも大切ですが、普段の生活の中で利用している食品を少し多めに買っておいて、使ったら使った分だけ新しく買い足していくことで常に一定量の食材を備蓄しておくことができます。

○非常用持ち出しバッグを確認しておきましょう

自宅が被災したときは、安全な場所に避難し避難生活を送ることになります。

・非常時に持ち出すべきものを普段からリュックサックに詰めておき、いつでも持ち出せるようにしておくことが大切です。時々、バッグの中を確認し、消費期限や使用期限が切れているものがないか確認しましょう。